

2022年6月17日

東海旅客鉄道労働組合政策部発行



JAPAN-RAILWAY-TOKAI-WORKERS-UNION



地方議員団会議が第24回研修会を開催！ ～豊橋市長から豊橋市の政策について講演を受ける～

5月17日にホテルアソシア豊橋において、地方議員団会議が第24回研修会を開催しました。研修会にはJ R東海ユニオン中央本部をはじめ各地本・総支部の政治政策担当者も出席しました。冒頭、世古口議長から、「地方議員団会議のメンバーも高齢化が進んでいるが、引き続きJ R東海ユニオンと連携し新たな仲間の発掘を進めるとともに、J R東海が進める経営施策やJ R東海ユニオンの政策についても、微力ながら協力していきたい」という旨の挨拶がありました。その後、J R東海ユニオンの課題と政策（リニア、獣害、自然災害対応、お身体が不自由なお客様対応など）について丸山副委員長が提起し、議員団メンバーから意見とともに、現況報告がされました。

また、豊橋市長の浅井由崇氏を招聘し、「未来を担う人を育むまち・豊橋を目指して」というテーマで特別講演を受けました。

内容としては、豊橋市の概要・現状・まちづくり政策についてであり、豊橋市が全国有数の農業王国であること、三河港の輸入自動車台数および取扱額が29年連続日本一であること、観光資源が豊富であること、観光資源を守るための530（ごみゼロ）運動を展開していること、人口減少対策を積極的に進めていること、人の流れを生み出すための交通政策を展開していることなどが触れられ、見識を拡げることができました。

浅井市長から「実は、これまでJ R東海に対してひかり号の停車増を求めてきたが、今もその気持ちがないわけではない。しかし、大切なのはひかり号を停めたくないような街にしていかなければならないと考えている」「豊橋市も他県、市町村と同様に人口減少傾向の状況であり、第6次豊橋市総合計画2021→2030で「未来を担う 人を育むまち・豊橋」を実現していきたい。人口が増加傾向に転じている明石市の政策も注視し、良いものは取り入れていきたい」と述べられました。

今回の研修会に出席し、交通政策等で地域との連携を深め、自治体の状況を把握することの必要性をあらためて認識することができました。引き続き、地方議員団会議の取り組みを活性化していきます。



世古口議長挨拶
丸山副委員長



浅井市長特別講演